

目 次

I	はじめに	P 1
II	現在の国際航空体制の概観	
	1. シカゴ条約体制、二国間協定方式の概略	P 2
	2. 現行の日本の国際航空規制についての概観	P 3
III	世界的な国際航空自由化の動き	
	1. EU 域内航空自由化のプロセスと自由化後の規制の検証	P 4
	2. オーストラリア・ニュージーランド間の国際航空市場統合のプロセスと自由化後の規制の検証	P 8
	3. 両航空統合市場において残された課題	P 10
	4. 米国のオープンスカイ政策	P 12
	5. 航空市場統合とオープンスカイ政策 ー米・EU 包括国際航空協定ー	P 13
IV	ミクロ経済学の観点からの東アジア圏航空自由化への提言	
	1. ミクロ経済学の観点からの東アジア圏航空自由化提言の内容	P 14
	2. シカゴ条約・二国間協定体制の見直しについて	P 15
V	東アジア圏諸国の航空市場統合を実施する場合の制度的課題	P 16
	1. シカゴ条約第7条への対応	P 17
	2. 航空会社の国籍規制と安全	P 19
	3. 航空企業の雇用流動化の問題	P 19
	4. C I Q体制の問題	P 19
	5. 独占禁止に関する法律の体制の統一	P 20
	6. 日本の空港発着容量制限の問題	P 21
VI	東アジア圏諸国の航空市場統合方策へ向けた提言	
	1. 東アジア圏航空統合市場の段階的实施	P 22
	2. 三国間で問題が生じた場合の裁定機関の必要性	P 23